

The Journal of Fluoride Problems フッ素問題ジャーナル

No.40 (2026 年 6 月号)

フッ素情報センター発行

沖縄市照屋 4-8-6-503 清水央雄

～ 目次 ～

お知らせ	p1
FAN 情報	p2~4
論文紹介：フッ素に代わる新たな虫歯抑制（再石灰化）剤の開発	p5~6
ダイキンの有機フッ素公害 その 12	p7~10
編集後記	p11

お知らせ

第 46 回フッ素研究会全国集会は、東京の日本教育会館で 2026 年 11 月 23（月・祝）に開催します。詳細は近日中にお知らせします。

FAN（ポールコネット代表）情報

1、米国国立衛生研究所の著者たちが、NTP フッ化物神経毒性報告の批判者を否定する包括的な回答を発表

2 つの大規模な水道フッ素添加政策の見直しが間近に迫っていることを認識し、国立毒性学プログラム (NTP) の毒物学者たちは、出生前および幼少期の飲料水中フッ素曝露が IQ 低下と関連していると指摘したモノグラフとメタアナリシスに対する批判に対する詳細な回答リストを発表しました。

12 月 12 日付の『Annals of Global Health』に掲載されたオープンアクセス声明で、K.W. テイラーらは次のように述べています。「証拠の積み上げによって飲料水中のフッ素の安全な限度に関する科学的関心と公共の議論が再燃しています。2025 年 4 月、米国保健福祉省はフッ素に関する新たな勧告を調査し提言を行うため、コミュニティ予防サービスタスクフォースを再招集すると発表し、米国環境保護庁 (EPA) は飲料水中のフッ素に関する科学的証拠とその潜在的な健康リスクを調査すると発表しました。

2 つの論文、『NTP モノグラフ:フッ素曝露と神経発達・認知に関する科学現状:系統的レビュー』は、高いフッ素曝露が子どもの IQ 低下と関連していることを中程度の確かさで示し、『フッ素曝露と子どもの IQ スコア:システムティックレビューとメタアナリシス』は JAMA Pediatrics に掲載されました。また、「フッ素曝露レベル 1.5 mg/L 未満でも逆相関が観察された」という報告は、政策を守ろうとする必死の水道フッ素添加支持者から批判を受けています。

著者らが指摘するように、彼らの研究は NTP 内部や外部の専門家、さらには医学雑誌による多数の査読を受けました。彼らは研究デザイン、データ収集、バイアス、透明性に関する批判に対して詳細な回答を提供し、次のように結論づけています。「NTP のシステムティックレビューおよび 2025 年のメタアナリシスの査読プロセスは、重要な科学的課題に関する多くのコメントを生み出し、最終文書の厳密さと確度に寄与しました。これらの問題のいくつかは、厳密に検討され、意見記事や一般メディアでしばしば取り上げられています。特に規制の部分で後続の査読者も同様の批判に直面することがあります。この見解は、口腔の健康のためにフッ素の安全な使用を確保する役割を担う人々を支援し、情報を提供することを目的としています」

出典:<https://doi.org/10.5334/aogh.4853>

2、フッ素入りマウスウォッシュで矯正ワイヤーを損傷して治療の効果が低下する

11 月 25 日の『Journal of Contemporary Dental Practice』で報告があり、インド、アメリカ、マレーシアの歯科大学やクリニックの研究者たちは、18 歳から 30 歳までの矯正治療患者 20 名を募集し、半数はフッ素添加のコルゲート MaxFresh マウスウォッシュを使用し、半数は非フッ素リステリンを使用したところ、3 か月間の研究期間中、非フッ素添加マウスウォッシュを使用したグループで歯の動きが有意に良好でした。研究者たちはまた、走査型電子顕微鏡でアーチワイヤーを観察した際、「フッ素入りマウスウォッシュ群に曝露

されたワイヤーの表面が、非フッ素化洗浄よりも顕著な表面損傷を示した」と報告しています。著者らは「非フッ素入りマウスウォッシュは、特にニッケルチタン(NiTi)アーチワイヤーで矯正歯の動き速度を助けるようだが、フッ素入りマウスウォッシュはアーチワイヤーの効果を抑制する可能性がある」と結論づけています。彼らは「フッ素による腐食は、長期的にはワイヤーのスライド力学や歯の動き速度に影響を与える可能性がある」としました。フッ素マウスウォッシュに3か月間曝露されたワイヤーは、最終引張強度が最も低かった。
出典:<https://doi.org/10.5005/jp-journals-10024-3897>

3、 ミシシッピ州公益事業委員会、水道フッ素化の廃止を要請

ミシシッピ州公共サービス委員会は今月、州議会に対し公共飲料水へのフッ化ナトリウムの添加を中止するよう全会一致で可決したと、WLBTの1月16日の報道が伝えています。ミシシッピ州における水道フッ素添加への世論支持は低下しており、報告書によると28のシステムが「公式に水道システムでのフッ化物使用の中止を進めている」とのことです。この決議案はデ・コーナー・スタンプス委員によって提出され、「ミシシッピ州民は自分たちの飲料水に何が加えられ、なぜそうなっているのかを知る権利があります。この決議は透明性、安全性、そして手頃な価格に根ざしています。「私たちは、水道システムが回避可能な化学物質コストを削減しつつ、家庭に届く水の質に自信を持てるようにしたいと考えています」と、WJTVの1月16日付の報道は述べています。公共サービス委員会は、ガス、電気、水道、下水道、通信の公益事業を監督する州の規制機関です。
<https://www.wlbt.com/2026/01/17/psc-pushing-lawmakers-discontinue-fluoridation-public-water-supplies/>

4、 海洋研究の拠点、モアヘッドシティ、水道フッ素添加を終了

東海岸の主要な海洋研究機関が集まるノースカロライナ州のこの都市は、市の水道へのフッ素添加を中止しました。カーター郡ニュースタイムズによると、市議会は1月13日の議会でこの慣行を終了することを全会一致で決定しました。

モアヘッド市は50年以上にわたりフッ素添加を行ってきました。この行為を終わらせる議会決議の一部には、「もはや水道システムにフッ素を加える必要も推奨もなくなり、使用される化学物質はスタッフにとって扱うのが危険である」と記されています。

市の公共サービス局長ダニエル・ウィリアムズ氏は、「市の水道システムにフッ素を追加するのはもはや最善の慣行ではないと判断されました。なぜなら、地下水には自然に存在するフッ素が存在するためです...」「これは水処理チームが大量に扱う中で最も危険な酸です」とNews Timesは伝えています。

モアヘッドシティは、主要な海洋研究所であるノースカロライナ大学チャペルヒル校海洋科学研究所と、ノースカロライナ州立大学海洋科学技術センターの所在地です。

カーターレット郡の別の町であるアトランティックビーチも最近、フッ素添加の終了を

決定しました。

出典:<https://www.moreheadcitync.gov/AgendaCenter/ViewFile/Item/4731?fileID=20948>

5、 カリフォルニア水道局、労働者の安全上の懸念からフッ素添加を停止

オリベンハイン市水道局の理事会は、損傷した大量のフッ素薬剤の受領を拒否し、管理された清掃を義務付けられた作業員が水道へのフッ素添加を停止しました。

サンディエゴ北部に位置する人口 6 万人以上の都市エンシニータスに拠点を置くウォーターディストリクトは、エンシニータス、カールスバッド、ソラナビーチで 87,000 人の顧客にサービスを提供していると、hoodline.com のウェブサイトの報告書で伝えられています。

この問題に関する公開会議で、多くの歯科医師が労働者の安全を気にしない様子で、サンディエゴ・ユニオン・トリビューンの話を引用して、フッ素添加の維持を委員会に促しました。

hoodline.com の報告によると、「スタッフは過去 1 年間で 2,200 ポンドの密封されたフッ化粉末袋が何度も切り傷や裂け目を伴って届いたと委員会に伝えました。最近の事件では、従業員が損傷した出荷を拒否し、管理された清掃を実施しました。」

報告書によると、この一時停止は最大 90 日間続き、「スタッフが取り扱い手順を見直し、代替サプライヤーを検討し、オペレーターの訓練を強化するための時間を与えることを目的としている」とのことです。

出典 :<https://hoodline.com/2026/01/torn-fluoride-bags-push-north-county-water-board-to-hit-pause/>

論文紹介：フッ素に代わる新たな虫歯抑制（再石灰化）剤の開発

Emerging Paradigms in Preventive Dentistry:

A Review of Nonfluoridated Remineralizing Agents

<https://doi.org/10.5005/jp-journals-10005-3309>

2025年11月17日の『International Journal of Clinical Pediatric Dentistry』で、フッ素ではない10種類の虫歯抑制（再石灰化）剤の研究に対するレビューがインドとイギリスの研究者によって発表された。フッ素がエナメル質を再石灰化する能力に言及しつつ（寛論文では否定されているが）、フッ素摂取に対してよりリスクのある幼い子どもたちを懸念している。

10の論文のレビューであり、これらは「フッ素フリーまたは補助的な再石灰化療法の需要が高まる中、安全で生体適合性が高く費用対効果の高い非フッ化剤の開発は、将来の虫歯管理戦略を再構築し、すべての人により良い経口治療結果をもたらす可能性があり、リスクを伴わない同等の効果を持つ非フッ素添加再ミネラル化剤の検討ニーズが高まっている」と結論づけている。

【カゼインホスホペプチド-非晶質リン酸カルシウム】

カゼインホスホペプチド-非晶質リン酸カルシウム（CPP-ACP）は、乳タンパク質であるカゼインから誘導され、カルシウムイオンとリン酸イオンを非晶質状態で安定化させ、早期の沈殿を防ぐ。エナメル質に塗布すると、CPP-ACPはイオンの貯蔵庫となり、エナメル質表面下の病変部に拡散して再石灰化を促進する。Reynoldsらによる研究など、臨床研究では、CPP-ACPの使用により、白斑病変の有意な減少とエナメル質の微小硬度の改善が認められている。さらに、この薬剤は生体適合性が高く、あらゆる年齢層に適している。無作為化比較試験の結果から、CPP-ACPの塗布は、治療中によく見られるエナメル質の脱灰リスクを低減するための臨床的に有効な戦略であることが実証されている。

【ナノヒドロキシアパタイト】

ナノヒドロキシアパタイト（nHAp）は、エナメル質の天然鉱物組成に非常に近い生体模倣材料。ナノスケールサイズであるため、エナメル質の微細な欠陥にシームレスに統合され、細孔を埋め、表面の滑沢性を回復する。ある研究では、nHAp配合歯磨き粉の使用により、脱灰したエナメル質の微小硬度が大幅に向上し、表面粗さが減少することが実証された。フッ化物とは異なり、nHApは再石灰化に酸エッチングを必要としないため、小児やフッ素過敏症の方にとってより安全な代替品となる。さらに、nHApは象牙細管を閉塞することで、象牙質知覚過敏症を軽減する可能性も示されている。

【テオブロミン】

ココアに含まれる天然化合物であるテオブロミンは、ヒドロキシアパタイトの結晶性を高める能力で注目を集めている。テオブロミンは、フッ化物単独で形成される結晶よりも大きく、より安定したヒドロキシアパタイト結晶の成長を促進することで、エナメル質を強

化する。臨床研究では、テオブロミン含有歯磨き粉がエナメル質の硬度を向上させ、フッ素含有歯磨き粉と同等の再石灰化効果をもたらすことが示されている。Amaechi らの研究では、テオブロミンをベースとした治療法が、試験管内でエナメル質の脱灰を抑制することが示され、さらに、無毒性で長期使用に適しているという利点も認められた。

【カルシウムリンシリケート（生体活性ガラス）】

生体活性ガラスは、唾液に触れるとカルシウムイオンとリン酸イオンを放出し、エナメル質表面にヒドロキシ炭酸アパタイト層を形成する。この層は酸による攻撃に対するバリアとして機能し、歯質表面下の病変の再石灰化を促進する。Hench らによる研究では、生体活性ガラスは、特にエナメル質侵食によるエナメル質喪失のある患者において、エナメル質の知覚過敏を軽減し、再石灰化を促進するのに効果的であることが示されています。

【五倍子】

中国の虫こぶから抽出される五倍子（*Galla Chinensis*）には、抗菌作用と再石灰化作用を示すタンニンが含まれている。五倍子はエナメル質上にカルシウム-タンニン複合体を形成し、保護バリアを作り、ミネラル沈着を促進する。研究によると、五倍子はエナメル質の脱灰を効果的に抑制し、う蝕原性細菌の増殖を阻害するため、う蝕予防の補助療法として有望視されている。

【エナメロン技術】

エナメロンは、安定化されたカルシウムイオンとリン酸イオンを組み合わせることで、再石灰化を促進する。この技術は、特に初期う蝕病変の管理と知覚過敏の軽減に効果的だ。臨床試験では、高リスク集団において、エナメル質の脱灰を抑制し、再石灰化を促進する効果が実証されている。

【オゾン技術】

オゾンガスを用いてう蝕原性細菌を殺菌し、バイオフィルムを酸化する。再石灰化効果は、オゾンが病変部を洗浄することで、CPP-ACP などの再石灰化剤が効果的に浸透する。

【プロアルギニン技術】

プロアルギニン技術は、アルギニンと炭酸カルシウムを用いて象牙細管を閉塞し、知覚過敏を軽減し、エナメル質の再石灰化を促進する。

【SensiStat】

炭酸カルシウムとトリメタリン酸イオンを組み合わせた SensiStat は、象牙質表面に保護層を形成し、硬度を回復させ脱灰を防ぐ。

【カルシウムオルトリン酸糖化複合体(Toothmin)】

この革新的な製剤は、リン酸カルシウムとショ糖を配合し、エナメル質の再石灰化を促

ダイキンの有機フッ素公害 その 12

前号から引き続き、ダイキンの有機フッ素公害 を Tansa が報じているのを要約して紹介します。全文は <https://tansa.jp/investigativejournal/12549/> で、お読み下さい。

【ダイキン、従業員の曝露を認めるが、住民向け説明では「健康被害ない」と詭弁】

ついにダイキン工業が、従業員が高濃度の PFOA を曝露していたと認めた。通常の 500 倍から 5 万倍に当たる。工場近隣の一部住民を対象にした説明会で、ダイキン化学事業部の小松聡部長が、従業員の高濃度曝露を伝えた。これまでダイキンは、従業員の高濃度曝露を明らかにしてこなかった。なぜ、ここに来て従業員の高濃度曝露を認めたのか。

小松部長は住民説明会で言った。「4 桁、5 桁の従業員でも、当時、健康影響が出ているというのは確認できませんでしたので、一安心をしたというのが本音でございます」京都大学の研究チームは、2021 年の時点で住民の血液から非汚染地域の約 70 倍の PFOA を検出。以後、住民の高濃度曝露が次々に判明し不安が募っている。それに対して、工場の従業員は平均値の 500 倍から 5 万倍の曝露でも、健康影響がない。だから安心できる。小松部長の発言はそういう趣旨だ。だがこれは、詭弁である。

【25 年前に従業員の高濃度曝露を予見】

小松部長の発言が、いかに矛盾しているか。順を追って説明する。淀川製作所近くの地下水からは、2020 年に国内最高値の PFOA が検出されている。2021 年には、京都大学の小泉昭夫名誉教授らが近隣住民の血液検査をし、最も高い人で非汚染地域の 70 倍の PFOA を検出した。工場の外でこの状況なのだから、工場で働いていた人は、かなりの高濃度を曝露しているのではないかと。そう考えていた矢先の 2022 年 4 月、Tansa はダイキンの社外秘文書を入手した。文書には、ダイキンが従業員の PFOA 曝露を予見していた事実が記されていた。

「データとして粉を扱う箇所、特に粉の状態での取り出しを行う箇所については測定濃度が高く、暴露(=曝露)が問題となるであろう。」

文書が作成されたのは、2000 年。四半世紀も前に、ダイキンは従業員の高濃度 PFOA 曝露を予見していたことになる。予見した後、ダイキンはどう対応したのか。実際に高濃度曝露はあったのか。健康影響はどうか。Tansa の質問にダイキンは、次のように答えた。

「毎年の健康診断の中で過去の PFOA 従事者の健康状態を把握していますが、PFOA に起因する健康影響は認められていません」

よくわからない。定期的な会社の健康診断で、PFOA による健康影響を把握できるとは思えない。そもそも、高濃度曝露があったのかどうかに答えていない。

2022 年 6 月、Tansa は大阪市にあるダイキン本社で、役職員らを直接取材した。その一人が、化学事業部の小松聡部長だ。ここから、小松部長の迷走が始まる。

「全員を調査したわけではない」

健康調査の実施期間を質問すると、「2003 年から、PFOA の製造をやめた 2015 年」とダイキン側は答えた。(ダイキンは現在、製造停止年を 2012 年と公表している。)

これはおかしい。なぜなら 2016 年以降は調査していないことになるからだ。PFOA の健康影響は、癌や肺疾患など時間が経過して発症する病気が少なくない。調査を継続していないのに、「健康影響はない」と回答できるはずがない。では 2015 年まで実施していた健康調査はどんなものだったのか。PFOA による健康影響を調べるには、従業員の曝露状況を測った上で、国際的な知見として定まっている PFOA 起因の疾患を調べなければならない。それらを調査したのか。

「それは言えない」

なぜ言えないのか。

「従業員の個人情報だから」

個人情報が出せないことくらい、こちらも承知している。曝露した人の人数や濃度の結果を開示するよう迫っても「それらの情報も開示しないという前提で調査した」。

だが、「全体的な情報も開示しない」という前提で調査をしたなど、にわかに信じられない。誓約書を従業員に提出したのか。

「提出していない」

ならばどうやって、全体的な情報も開示しない旨を従業員に伝えたのか。

「私(小松部長)が口頭で一人一人に説明した」

本当か。検査を受ける全員に小松部長が、説明したのか。

「全員ではない」

これが、PFOA の世界 8 大メーカーだった企業の回答だろうか。あまりにいい加減だ。

【小松部長「PFOA は危険なんですか?」】

そもそも従業員の健康など何とも思っていないのではないか。2000 年、米国環境保護庁(EPA)は、PFOA の人体への影響を懸念し、調査の必要性があると公表。世界 8 大メーカーの一つである米国の 3M は、人体への危険性を理由に 2002 年に製造を打ち切った。ところがダイキンは、2000 年に従業員の高濃度曝露を予見する社外秘文書を作成していたにもかかわらず、製造をやめたのは 2015 年だという。その点を突くと、小松部長がまともに答えられない。

「それはあの～、何年に危険性を認識したかっていうのは、あの～、それはわからないです」

話にならない。こちらが「なんでわからないんですか。わかる人を連れてきてくださいよ」と言うと、小松部長は逆質問してきた。

「(PFOA は)危険なんですか?」

自社の従業員にもいい加減な対応をするダイキンとは裏腹に、京大の研究者や有志の医師による研究チームは 2025 年 4 月、労働衛生分野の科学誌『Industrial Health』に論文を発表した。

PFOA 工場の従業員 3 人に、呼吸機能が低下する「間質性肺疾患」の症状があると報告した。3 人の共通点は、血中の PFOA 濃度が極端に高いこと。そしてダイキン淀川製作所で PFOA 製造に従事した経験があることだった。研究チームは警告した。

「間質性肺疾患は、アスベストによる中皮腫のように、PFOA 曝露から 20 年以上経ってから発症する。作業員の健康被害は、5 人、10 人では済まないだろう」

【20 人に満たない住民説明会】

追い込まれたのは、ダイキンだ。論文について Tansa が質問すると、コーポレートコミュニケーション室 広報グループから以下の回答が届いた。

「弊社は、当該論文の作成に携わっておらず、その分析方法や精度などの詳細を把握していないため、一連のご質問へのコメントは差し控えさせていただきます」

論文の作成に携わっていないのは当たり前だ。科学論争から逃げたいだけだろう。

その一方でダイキンは、2025 年 9 月 8 日夜 7 時から、住民説明会を開催。希望する近隣住民全員に開かれたものではなく、淀川製作所がある「一津屋(ひとつや)」地区の、農業協議会に加入している人のみが対象だ。参加者は 20 人に満たなかった。不安を募らせる住民を、内々に懐柔しようとする意図が透けて見える。

小松部長は「2000 年当時に、弊社従業員の血液検査を測定しております」と言い、こう打ち明けた。

「当時の従業員では、4 桁、5 桁という状況でありました」「非常に、我々その従業員と地域の皆さんも『それなりにあるのかな?』ということのを、一番心配しました」

環境省が示す PFOA 血中濃度の国平均(2023 年度)は、2.1ng/mL だ。米国政府の指針では、20ng/mL 以上は「腎臓がんや精巣がん、潰瘍性大腸炎、甲状腺疾患などのリスクを考慮した処置が必要」としている。

「4 桁、5 桁」は国内平均と比べれば、500 倍から 5 万倍だ。癌などのリスクを踏まえた処置が必要な米国指針の、50 倍から 5000 倍に該当する。だが小松部長は言った。

「4 桁、5 桁の従業員でも、当時、健康影響が出ているというのは確認できませんでしたので、一安心をしたというのが本音でございます」

これまで伏せてきた従業員の高濃度曝露をあえて打ち明け、健康影響は出ていないから住民も安心していいということだ。しかし、従業員の健康影響調査の杜撰さは、先に説明した通りだ。反対に、京大の研究者と医師らによる研究チームは健康被害を突き止め、科学論文として発表している。

【ダイキン「関係者以外への回答は控える」】

小松部長の説明では、納得できない。住民からの疑問の声が止まない。だが説明会が始まってから 1 時間半が経とうとする頃、ダイキンは時間を理由に説明会の終了を告げた。

Tansa は、ダイキンに質問状を送った。

「4 桁、5 桁」の PFOA 濃度を検出した従業員の健康被害は確認できなかったとのことですが、健康被害がないことをどうやって確認したのですか。具体的にお答えください。

ダイキンの回答は次のとおりだ。

現在、PFOA の人体への蓄積が健康に及ぼす影響については未解明な部分が多い中、弊社は周辺の住民の皆様との対話なども通じて、弊社としての対応の検討を続けています。その一環として 2025 年 9 月 8 日に開催された摂津市の一津屋農業協議会会員を対象とした住民説明会を開催いたしましたが、この説明会は住民の方々との対話を目的としておりますため、本説明会における質疑応答やその他の発言内容について、関係者以外の方へのお答えは控えさせていただきます。

【大阪・摂津市議選候補者に PFOA 汚染を問う】

2025 年 9 月 21 日、摂津市議会議員選挙が行われる。市議はこの問題にどう対応しているのか。質問状で問うたところ、共産・維新の候補者はダイキンに謝罪と補償を求め、立憲の候補者は「環境再生計画の策定」を挙げた。ダイキン労組が推薦するダイキン社員の候補者は、無回答だった。

【摂津市議会が全会一致で大阪府への要請を可決】

質問状に回答したのは 28 名中わずか 7 名であったものの、当選した議員は一致団結し、2025 年 10 月 29 日、住民への PFOA 健康調査の実施や、そのためのダイキンとの連携などを求める大阪府への意見書を、全会一致で可決した。これまで大阪府は、ダイキンへの監督・指導権限があるにもかかわらず、ダイキンと馴れ合い、必要な対応策を取ってこなかった。しかし、岡山県吉備中央町で水道水汚染が発覚するなど、全国的に PFAS 汚染への不安が高まっている。摂津市議会はその機運を生かした。意見書は、保守・市民の会(自民・無所属)、公明、共産、立憲、大阪維新の超党派で提出され、議長を除く全市議 18 人が賛成した。

「本市議会は、大阪府に対し、府民の懸念解消に寄り添うよう、下記の措置を講じるよう要望します。」と綴り、4 点を要望した。

1. 血液検査による PFAS の血中濃度の測定並びに疫学調査・分析を行うこと。
2. 統計データを用いた健康状態の把握並びに情報発信を行うこと。
3. 健康調査において専門家を活用すること。
4. 健康調査のために摂津市、ダイキン工業等の関連団体と連携すること。

摂津市では 2020 年、環境省による PFOA 全国調査の結果、全国で突出した値を記録した。国指針の 36 倍に当たる。汚染源は市内にあるダイキン工業淀川製作所だ。ダイキンへの監督権限があるのは、大阪府だ。国会で淀川製作所に起因する PFOA 汚染が審議された時も、環境大臣は「大阪府が対応するべきだ」という認識を示した。しかし、大阪府は対応策を取らなかった。まるでやる気を見せない。そこへ、岡山県吉備中央町での水道水汚染が、2023 年 10 月に発覚。全国的に PFAS 汚染への不安が広がった。環境省は 2025 年 3 月に「PFAS ハンドブック」を発行した。ハンドブックには以下の記載がある。

「PFOS・PFOA による健康影響への不安の声が上がっている地域においては、地域保健を担当する自治体が、地域保健活動の一環として、健康指標に関する既存統計等を用いるなどして、当該地域の健康状態を把握し、地域住民に向けた情報発信をすることが望まれます」

摂津市議会の意見書は、このハンドブックの内容に言及し、大阪府に対応を求めた。地方自治法第 99 条に基づき、大阪府へ提出される。

～ つづく ～

編集後記

NTP レポートを契機に、アメリカでは次々と水道フッ素添加中止の動きが続いています。

EPA は裁判で敗訴したこともあり、しぶしぶフッ素の悪影響を認める声明を出しています。これを追い風にしてフッ素洗口にストップをかけたいと思います。

私事になりますが、沖縄に来て半年たちました。北海道とは気候が大きく違うのは言うまでもありませんが、暑いのはまだしも、湿度が高いのでカビが生えないように気を付けないといけないので苦労してます。泊まりで外出する際はエアコンをつけたままというのは、こちらでは常識です。浴室に置いておいたバスタオルがかびたことがあり、入浴後は浴室で除湿器をかけています。

近年、台風はあまり沖縄に来なくなり、去年は1つも来なかったそうですが、今年はすでに1つ来ました。6月1日は勤務先も休診になりました。前日に勤務先で「窓に新聞紙を挟む」という作業を行ったのですが、最初はその意味がわからなかったのですが、当日自宅の窓の下の際間から雨水が噴出しました。北海道のような2重窓なら必要ないかもしれませんが、窓にかかった水が窓の下部に流れて、その水が強風の風圧で、窓と窓枠の際間から噴き出して室内に水が入ります。慌てて我が家でも隙間に新聞紙を挟みました。

幸い、我が家は停電も断水も起こらなかったのですが、各地で停電があり、一晩停電したままの世帯もありました。3年前の台風の時、職場の同僚で3日間停電した人がいて、ホテル暮らしを余儀なくされたそうです。

うちは被害はなかったとはいえ、車の洗車が必要になりました。うちは海から数キロ離れて、標高も100メートル近くあるものの、海水が巻き上がって海水が降るので洗車しないと車がサビるのです。台風の翌日、洗車場は長蛇の列で翌日、洗車場が開く7時の15分前に行ったら他に洗車待ちの車はいなかったのですが、その後続々と洗車する車が押し寄せました。

今月と9月に北海道に一時帰るのですが、飛行機が欠航しないことを祈ってます。